



## 北海道ブロッククラブネットワークアクション 2018 開催要項

テーマ：『刺激 2018～総合型クラブの過去・現在・未来～』

1. 趣旨：ブロック内の総合型地域スポーツクラブ関係者（創設準備中団体を含む）が一堂に会し、総合型地域スポーツクラブの運営に必要な情報や課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ育成・支援のためのネットワーク強化と各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携体制をより一層促進する。

第2期スポーツ基本計画の具現化を目指し、総合型地域スポーツクラブ北海道ネット創立10周年の節目を契機に、次の10年間に「何ができるか」「何をすべきか」を現実的な視点で考える場とする。

クラブの安定経営には行政との連携が重要な要素を占めるため、道内クラブの連携事例を紹介しながら、各クラブの立ち位置を考える機会とする。

関連して、登録認証制度や中間支援組織の在り方に理解を深めてもらう。

2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC 全国ネットワーク）

3. 主管：北海道ブロッククラブネットワークアクション実行委員会

4. 後援：スポーツ庁

5. 協力：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

6. 日程・会場：平成30年10月27日（土）12:30～15:45（12:00～受付）

10月28日（日）9:00～12:00（8:30～受付）

北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 電話番号：011-820-1703

最寄り駅：「豊平公園駅」徒歩4分

7. 参加対象者：都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブ

創設支援団体（義務参加）

自立支援・マネジャー設置支援クラブ（補助1、2年目のクラブは義務参加）

都道府県体育・スポーツ協会等担当者

行政担当者

その他、総合型地域スポーツクラブに関心のある者で本会が認めた者

8. 内 容 : < 1 日目 >

- ① 共通プログラム : 「障がい者スポーツへの現実的な対応を考える」 (仮称)
- ② トークショー : 「刺激 / 次の 10 年に向けての問題提起」

< 2 日目 >

- ① 日本スポーツ協会からの情報提供
- ② パネルディスカッション : 「私はこうして行政と連携していきました」
- ③ グループワーク : 「次の 10 年を考える」

9. ネットワークアクション実施協力金 : 3,000 円 (税込)

※納入方法については、別途案内します。

10. その他 :

- (1) 本ネットワークアクション参加に係る旅費について、本会を通じた創設支援団体・自立支援クラブの出席者は、創設・自立支援事業経費より、経理処理要領・補助対象経費基準表に基づき支出することができます。
- (2) 本ネットワークアクションを本会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修とします (全プログラムに参加することを条件とします)。  
ただし、水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビック (上級コーチのみ)、チアリーディング (コーチのみ)、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、プロゴルフ (教師・上級教師)、プロテニス、プロスキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は 2 ポイントの実績になります。(平成 30 年 4 月 1 日現在)
- (3) 本ネットワークアクションにおいて撮影された写真は、本会ホームページや各種報告資料に掲載することがあります。
- (4) 不明な点については、下記にお問い合わせください。

公益財団法人日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部 クラブ育成課

TEL : 03-3481-2278      FAX : 03-3481-2284

※本ネットワークアクションは、東京 2020 応援プログラム (スポーツ・健康) として実施します。



**フェアプレイで日本を元気に!** ~あくしゅ、あいさつ、ありがとう~

目指せ 100 万人のフェアプレイ宣言! WEB で好評受付中!

<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

公益財団法人 日本スポーツ協会

# 北海道ブロッククラブネットワークアクション2018 日程表

メインテーマ『刺激2018 ～総合型クラブの過去・現在・未来～』

1日目 [10/27 (土)]		2日目 [10/28 (日)]	
2階大研修室		2階大研修室	
12:00	受付	8:30	受付
12:30	<b>【開会行事】</b> 開会挨拶・主催者挨拶・プログラムの趣旨説明等	9:00	●日本スポーツ協会からの情報提供
12:45	●共通プログラム (60分)	9:30	●パネルディスカッション (60分)
	テーマ 『障がい者スポーツへの現実的な対応を考える』 (仮称)		テーマ 『私はこうして行政と連携していきました』 ・ 行政と連携した事業に至った経緯を複数紹介 ○コーディネーター：小田 新紀 氏 (NPO法人幕別札内スポーツクラブ) ○パネリスト：井上 諭一 氏 「体育施設指定管理者」 (NPO法人枝幸三笠山スポーツクラブ) ○パネリスト：新野 昌子 氏 「災害ボランティア本部」 (みなみふらのSHCクラブ ゆっく) ○パネリスト：磯田 大治 氏 「小学校体育支援」 (NPO法人おにスポ)
13:45	休憩	10:30	休憩
14:00	●対談 (90分)	10:45	●グループワーク(60分)
	「理人の部屋」 テーマ：『刺激/次の10年に向けての問題提起』  ○聞き手：山本 理人 氏 (北海道教育大学岩沢校)  ○ゲスト：伊端 隆康 氏 (るもいスポーツクラブ「このゆびとまれ」)  *スペシャルゲストにご登壇いただく場合があります。		テーマ 『次の10年を考える』  ○コーディネーター：熊耳 雅美 氏 (北海道クラブアドバイザー)
15:30	<b>【1日目閉会行事】</b>	11:45	<b>【全体まとめ・閉会行事】</b>
15:45		12:00	